

科目名	建築士対策(製図)						
科目名(英)	ARCHITECTURAL DESIGN DRAWING						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	今泉清太		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	インテリアデザイン科2年						
授業概要	2級建築士2次対策レベルに関する 各建築構造の基礎知識から応用を身に着ける。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				RC建築構造の課題の特徴、出題傾向が説明できる。	
	○	○				S造の課題の特徴、出題傾向が説明できる。	
	○	○				各構造の矩計図、断面図の理解し、各部の名称が答えられる。	
		○	○			建築士2次試験問題を限られた時間で描ける	
テキスト・教材 参考図書	総合資格 2級建築士 設計製図 テキスト						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	近年の試験対策について 全体概要説明			事前にテキスト確認する		
	2	設計製図試験の概要 学習のポイント			前回学習したことを復習する		
	3	本試験出題のイメージ.			エキストと巻末の表現補法を確認		
	4	計画の要点の概要			前回学習したことを復習する		
	5	鉄筋コンクリート造(RC造) 概要			前回学習したことを復習する		
	6	ラーメン構造 構造 計画			前回学習したことを復習する		
	7	ラーメン構造 配置計画と外部動線			前回学習したことを復習する		
	8	ラーメン構造 平面計画			前回学習したことを復習する		
	9	鉄筋コンクリート造 課題文の読み取り、			前回学習したことを復習する		
	10	鉄筋コンクリート造 ケーススタディ エスキスの進め方			テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する		
	11	鉄筋コンクリート造 要求図面の描き方(ラーメン構造)			テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する		
	12	鉄筋コンクリート造 立面図			テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する		
	13	鉄筋コンクリート造 断面図			テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する		
	14	鉄筋コンクリート造 部分詳細図			テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する		
	15	鉄骨造(S造)					
	16	鉄骨造(S造)(RC造) 概要			6月下旬に課題発表 特徴等事前調査を指示する。		
	17	純ラーメン構造 構造 計画			法令集持参、関連法規に注意させる		
	18	純ラーメン構造 配置計画と外部動線			建築計画テキストを持参させ、プリントと照らし合わせる。		
	19	純ラーメン構造 平面計画			建築構造テキストを持参させ、プリントと照らし合わせる。		
	20	鉄骨造(S造) 課題文の読み取り、			事例をもとに解説、プリントはファイリングの支持をする。		
	21	鉄骨造(S造) ケーススタディ エスキスの進め方			11月下旬に課題発表 特徴等事前調査を指示する。		
	22	鉄骨造(S造) 要求図面の描き方(純ラーメン構造)			12月下旬に課題発表 特徴等事前調査を指示する。		
	23	鉄骨造(S造) 立面図			図面のチェックと修正		
	24	鉄骨造(S造) 断面図			図面のチェックと修正		
	25	鉄骨造(S造) 部分詳細図			図面のチェックと修正		
	26	チャレンジ課題② 課題読み合わせ ポイントライン引き			図面のチェックと修正		
	27	チャレンジ課題② 作図演習			図面のチェックと修正		
	28	チャレンジ課題② 作図演習			図面のチェックと修正		
	29	チャレンジ課題② 作図演習			図面のチェックと修正		
30	まとめ 整理			演習問題れんけいする。			
評価方法	(1)課題の提出 (2)課題の発表 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	練習課題	○	◎				30%
	チャレンジ課題②	○	◎				70%
履修上の注意	出席率60% 未満者 単位付与しない。						

科目名	AutoCAD II											
科目名(英)	AutoCAD practice II											
単位数	4単位			時間数		60時間		担当者		福光 春子		
実施年度	2019年度			実施時期		後期		実務家教員 担当科目		○		
対象学科・学年	インテリア学科 2年											
授業概要	演習を通して、レイアウト空間での印刷スキルの習得及びCAD操作の正確さ、図面の読図能力、応用力の習得を図る											
授業形式	講義: △			演習: ○		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標						
	○	○				建築設計ツールの一つであるAutoCADの機能について学び、必要な機能を選択し使用することができる。						
	○	○				授業を通じて図面の種類を学び、図面と図面の関係性を立体的に捉え作図することができる。						
	○	○				意匠図の作図を通じて部屋の広さや高さを学び、建物の計画に応用することができる。						
	○	○		○		構造図面の作図を通じて木造住宅の構造を学ぶと共に、部材の名称を答えることができる。						
	○	○		○		授業を通して建築図面の作図手順を学び、建築計画時に応用することができる。						
テキスト・教材 参考図書	テキスト:オリジナルプリント 参考図書:超入門 建築製図(市ヶ谷出版)											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1 2	鉄筋コンクリート住宅 1階平面図①					オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)					
	3 4	鉄筋コンクリート住宅 1階平面図②					オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)					
	5 6	鉄筋コンクリート住宅 2階平面図①					オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)					
	7 8	鉄筋コンクリート住宅 2階平面図②					オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)					
	9 10	鉄筋コンクリート住宅 断面図①					オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)					
	11 12	鉄筋コンクリート住宅 断面図②					オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)					
	13 14	鉄筋コンクリート住宅 立面図①					オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)					
	15 16	鉄筋コンクリート住宅 立面図②					オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)					
	17 18	鉄筋コンクリート住宅 配置図、レイアウト空間での印刷					オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)					
	19 20	鉄骨造住宅 1階平面図①					オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)					
	21 22	鉄骨造住宅 1階平面図②、鉄骨造住宅 3階平面図①					オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)					
	23 24	鉄骨造住宅 2階平面図②					オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)					
	25 26	鉄骨造住宅 断面図①					オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)					
	27 28	鉄骨造住宅 断面図②、鉄骨造住宅 立面図①					オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)					
	29 30	鉄骨造住宅 立面図②、印刷					授業内容の復習 データ提出					
	評価方法	(1) 練習問題を数回実施する。(2) 授業課題の提出を求める。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。										
			言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他	
練習問題		○		○								10%
課題提出状況								◎				30%
習熟度(スピードと正確さ)		◎		◎								50%
出席率								○				5%
授業態度								○				5%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合、提出課題が未提出の場合は履修単位を与えない。											

科目名	Photoshop Illustrator IV											
科目名(英)	Photoshop Illustrator 4											
単位数	2単位			時間数		30時間		担当者		原 将史		
実施年度	2019年度			実施時期		後期		実務家教員 担当科目		○		
対象学科・学年	インテリア学科 2年											
授業概要	IllustratorとPhotoshopの基本操作を踏まえ、建築パースの作成やプレゼンボードの作成を行う卒業制作や各種コンペティションに必須のレイアウトデザインが行えるスキルを身につける											
授業形式	講義:			演習: ○		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標						
		○				Illustratorの基本機能を踏まえ、適切に文字・写真を配したデザインが作成できる						
		○				Photoshopによる建築CGパースの補正とグラフィックの加工ができる						
	△	○	△	△		設計プランのコンセプトに沿ったデザインの演出をコントロールできる						
テキスト・教材 参考図書	情報リテラシー Office2016											
授業計画	回数	授業項目・内容							授業外学修指示			
	1	IllustratorとPhotoshop を連携したワーク(復習課題への取組み)										
	2	有名建築家をテーマとしたレイアウトボードのデザイン①										
	3	有名建築家をテーマとしたレイアウトボードのデザイン①										
	4	有名建築物をテーマとしたレイアウトボードのデザイン②										
	5	有名建築物をテーマとしたレイアウトボードのデザイン②										
	6	建物の写真を活用したCG加工										
	7	3DCGのレンダリング画像を活用したCG加工										
	8	プレゼンボードデザインの練習										
	9	プレゼンボードデザインの練習										
	10	卒業制作のプレゼンボードデザイン 構想										
	11	卒業制作のプレゼンボードデザイン 構想～チェック										
	12	卒業制作のプレゼンボードデザイン レビュー・修繕										
	13	卒業制作のプレゼンボードデザイン レビュー・修繕										
	14	卒業制作のプレゼンボードデザイン レビュー・修繕										
	15	卒業制作のプレゼンボードデザイン レビュー・修繕										
評価方法	各テーマ作成課題を評価対象成果物として評価:4種実施、その提出により評価 卒業設計・卒業制作のプレゼンボード レイアウトデザインによる評価 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	各テーマ課題		△		◎		△				○	55%
	卒業制作ボード				○				◎		○	35%
	受講態度・出席状況								○			10%
履修上の注意	出席率60%が単位付与の条件とする。											

科目名	就職実務ⅡB										
科目名(英)											
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	今泉清太				
実施年度	2019年度		実施時期	後期		実務家教員 担当科目	○				
対象学科・学年	インテリアデザイン科 2年										
授業概要	就職活動に必要な基礎知識を備えた人材の育成 就職活動における作品集作成や履歴書記入方法など、社会人になる上でのスキルを身につける。										
授業形式	講義： ○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標					
	○	○				就職活動における企業研究が行うことができる					
		○		○		自己分析を行うことができる					
	○	○		○		作品集を作成し就職活動ができる					
テキスト・教材 参考図書	就職ガイドブック 社会人研修ノート										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達									
	2	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達									
	3	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達									
	4	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達									
	5	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達									
	6	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達									
	7	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達									
	8	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習									
	9	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習									
	10	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習									
	11	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習									
	12	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習									
	13	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習									
	14	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習									
	15	社会人研修									
評価方法	(1)出席状況 (2)受講態度・意欲 (3)課題の提出 以上の内容を総合的に判断し R評価(可、不可)で判断する。										
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合				
	出席状況				◎		60%				
	受講態度・意欲	○	○				30%				
	課題の提出	○	○				10%				
履修上の注意	60%出席を単位付与条件とする										

科目名	建築士対策（計画）						
科目名(英)	Architectural Planning						
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	森行 美枝
実施年度	2019年度		実施時期	後期		実務家教員 担当科目	○
対象学科・学年	インテリアデザイン科2年						
授業概要	以下の項目について基本知識を理解し習得する。気象 換気 伝熱 日照 音響 色彩 住宅 商業建築 公共建築 給排水設備 電気・照明設備 消火・防災設備						
授業形式	講義：	○	演習：	△	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				2級建築士出題範囲である 伝熱計算、露点温度等のグラフが読める。	
	○	○				日照・日射・採光の図形を見て、出題問題の正解が導き出せる。	
	○	○				建築物に付随する設備についての種類や役割が説明できる。	
	○	○				建築の歴史において、建築物の名称、建築家名、建築様式につて正解を選択できる。	
	○	○				住宅から公共建築物まで、特徴や都市における役割など、正解を選択できる。	
テキスト・教材 参考図書	確認、復習テストプリント 市ヶ谷出版 建築計画 総合資格 厳選問題集500+100。						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第1章 気候					
	2	第2章 伝熱・結露				復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	3	第3章 日照・日射・採光 第4章 音響				復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	4	第5章 色彩				復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	5	第6章 環境工学融合				復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	6	第7章 空気調和設備				復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	7	第8章 給水設備				復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	8	第9章 排水衛生設備				復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	9	第10章 電気・照明設備				復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	10	第11章 消火・防災設備				復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	11	第12章 設備融合				復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	12	第13章 建築史 第14章 計画一般				復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	13	第15章 住宅				復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	14	第16章 商業建築 第17章 公共建築				復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	15	第18章 地域計画 第19章 各論融合				今までの復習プリントで復習	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。※60%以上取得すること (2)2級建築士 学科本試験で合格を目指すこと 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				80%
	復習問題	○	○				20%
履修上の注意	60%出席を単位付与条件とする。						

科目名	建築士対策（法規）						
科目名(英)	Building regulations						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	今泉清太		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	インテリアデザイン科2年						
授業概要	学科Ⅱで出題される以下の項目について基本知識を理解し習得する。 建築基準法 バリアフリー法 耐震改修法 建築士法 都市計画法 品確法						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他		
	○	○	△				
	目標						
	○	○					
	○	○					
	○	○					
テキスト・教材 参考図書	確認、復習テストプリント 市ヶ谷出版 建築法規 総合資格 厳選問題集500＋100。						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第1章 総則 用語の定義 面積・高さ等の算定方法					
	2	第1章 総則 確認済証の交付			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	3	第1章 総則 手続き等(中間検査等)			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	4	第2章 一般構造等 一般構造 建築設備			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	5	第3章 構造強度			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	6	第4章 防火関係 防火構造等 法22条区域内の建築物			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	7	第4章 防火関係 耐火・準耐火建築物 防火・準防火地域			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	8	第4章 防火関係 防火区画・間仕切壁 内装制限等			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	9	第5章 都市計画区域等の制限 道路・壁面線			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	10	第5章 都市計画区域等の制限 用途地域			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	11	第5章 都市計画区域等の制限 容積率・建ぺい率			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	12	第5章 都市計画区域等の制限 高さの制限 日影規制			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	13	第6章 雑則			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	14	第7章 その他の関係法令 バリアフリー法 耐震改修促進法			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	15	第7章 その他の関係法令 建築士法 都市計画法 その他			今までの復習プリントで復習		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。※60%以上取得すること (2)2級建築士 学科本試験で合格を目指すこと 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				80%
	復習問題	○	○				20%
履修上の注意	60%出席を単位付与条件とする。						

科目名	建築士対策（構造）						
科目名(英)	Building construction						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	黒木文雄		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	インテリアデザイン科						
授業概要	学科Ⅲで出題される以下の項目について基本知識を理解し習得する。 構造物と力 静定構造物の応力 トラス 断面の性質 座屈 荷重 木構造 鉄筋コンクリート構造 鉄骨構造 特殊構造 建築材料概要。						
授業形式	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他		
	○	○					
	目標						
	工事契約の仕組を理解し、過去の建築士問題が解ける						
	鉄筋コンクリート造の施工方法に関する、建築士問題が解ける						
	鉄骨造の施工方法に関する、過去の建築士問題が解ける						
テキスト・教材 参考図書	確認、復習テストプリント 市ヶ谷出版 建築構造 総合資格 厳選問題集500＋100。						
	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第1章 構造物と力			第1章テキスト内の問題を事前に回答しておく		
授業計画	2	第2章 静定構造物の応力			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	3	第3章 特定トラスの応力			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	4	第4章 断面の性質			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	5	第5章 応力度と許容応力度			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	6	第6章 変形と不静定構造物			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	7	第7章 荷重・外力			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	8	第8章 地盤と基礎構造			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	9	第9章 木構造			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	10	第10章 鉄筋コンクリート構造			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	11	第11章 鉄骨構造			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	12	第12章 その他の構造			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	13	第13章 構造設計			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	14	第14章 建築材料			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	15	第14章 建築材料			今までの内容を復習する		
	評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。※60%以上取得すること (2)2級建築士 学科本試験で合格を目指すこと 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験		○	○				80%
復習問題		○	○				20%
履修上の注意	出席60%以上が単位付与の条件・						

科目名	建築士対策（施工）											
科目名(英)	Building Construction											
単位数	2単位			時間数		30時間		担当者		集路		
実施年度	2019年度			実施時期		後期		実務家教員 担当科目		○		
対象学科・学年	インテリアデザイン科2年											
授業概要	以下の項目について基本知識を理解し習得する。 工事監理 施工業務 仮設工事 鉄筋工事 鉄骨工事 木工事 設備工事 建築積算 測量 工事契約											
授業形式	講義： ○			演習： △		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標						
	○	○				工事契約の仕組を理解し、過去の建築士問題が解ける						
	○	○				鉄筋コンクリート造の施工方法に関する、建築士問題が解ける						
	○	○				鉄骨造の施工方法に関する、過去の建築士問題が解ける						
	○	○				防水工事～設備工事の施工方法についての過去の建築士試験問題が解ける						
	○	○				積算に関する知識を試す問題が解ける。						
テキスト・教材 参考図書	日建学院2級建築士学科受験テキスト 学科Ⅳ施工											
授業計画	回数	授業項目・内容						授業外学修指示				
	1	第1章 工事契約										
	2	第2章 工事監理・施工業務						復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	3	第3章 地盤調査・測量 第4章 仮設工事						復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	4	第5章 土工事・基礎地業工事						復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	5	第6章 鉄筋コンクリート工事						復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	6	第7章 鉄骨工事						復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	7	第8章 コンクリートブロック工事						復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	8	第9章 木工事						復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	9	第10章 防水・屋根工事						復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	10	第11章 左官工事						復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	11	第12章 タイル・張石工事						復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	12	第13章 塗装工事						復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	13	第14章 建具・ガラス工事 第15章 内装・断熱工事						復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	14	第16章 ユニット工事 第17章 設備工事						復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	15	第18章 用語・機械 第19章積算						今までの内容を復習する				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。※60%以上取得すること (2)2級建築士 学科本試験で合格を目指すこと 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	定期試験	○		○								80%
	復習問題	○		○								20%
履修上の注意	出席60%以上が単位付与の条件・											

科目名		卒業制作										
科目名(英)												
単位数		6単位			時間数		90時間		担当者		加藤 啓子	
実施年度		2019年度			実施時期		後期		実務家教員 担当科目			
対象学科・学年		インテリアデザイン科 2年										
授業概要		在学中に修得した建築やインテリアデザインの知識、技術、センスを活かして、その集大成を卒業設計としてまとめる。 建築・インテリアという分野の中で意義を熟考した上でテーマを選定し、担当教員の助言・指導のもと進める。 成果は最終的に作品パネルや模型としてまとめ、研究発表を行う。										
授業形式		講義：			演習： ○		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)		言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目 標					
			○				本学におけるこれまでの学習の成果が身についている。					
			○	○	○	○	テーマ設定、資料収集、リサーチ、構想、計画、制作といった一連の活動を問題なく遂行できる					
			○		○	○	卒業制作を通して、実務に通用する洞察力や表現力を身につけることができる。					
テキスト・教材 参考図書		配布プリント、スチレンボード、プラ板、ボンド、パルサ材等 ※プレゼン内容による										
授業計画		回数			授業項目・内容					授業外学修指示		
		1	2	3	テーマ・概要の決定					締切を確認し計画的に進めてください。		
		4	5	6	エスキス～ラフプランの作成					締切を確認し計画的に進めてください。		
		7	8	9	エスキス～ラフプランの作成					締切を確認し計画的に進めてください。		
		10	11	12	エスキス～ラフプランの作成					締切を確認し計画的に進めてください。		
		13	14	15	作図(平面図・配置図・立面図・断面図)					締切を確認し計画的に進めてください。		
		16	17	18	作図(平面図・配置図・立面図・断面図)					締切を確認し計画的に進めてください。		
		19	20	21	作図(平面図・配置図・立面図・断面図)					締切を確認し計画的に進めてください。		
		22	23	24	パース、スケッチ、模型、3D-CAD					締切を確認し計画的に進めてください。		
		25	26	27	パース、スケッチ、模型、3D-CAD					締切を確認し計画的に進めてください。		
		28	29	30	パース、スケッチ、模型、3D-CAD					締切を確認し計画的に進めてください。		
		31	32	33	パース、スケッチ、模型、3D-CAD					締切を確認し計画的に進めてください。		
		34	35	36	パース、スケッチ、模型、3D-CAD					締切を確認し計画的に進めてください。		
		37	38	39	プレゼンボード作成					締切を確認し計画的に進めてください。		
		40	41	42	プレゼンボード作成					締切を確認し計画的に進めてください。		
		43	44	45	最終確認後、提出					締切を確認し計画的に進めてください。		
評価方法		(1)出課題作品の完成度 (2)段階的な作品の提出状況 (3)プレゼンテーションの出来栄によって評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。										
					言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
		課題作品				◎	○	○	○	80%		
		提出状況							○	10%		
		プレゼンテーション				○		○		10%		
履修上の注意		60%出席を単位付与条件とする										

科目名	検定対策ゼミⅡB(インテリアコーディネーター)										
科目名(英)											
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		福田 昌彦		
実施年度	2019年度		実施時期		後期		実務家教員 担当科目		○		
対象学科・学年	建築系 2年次										
授業概要	インテリア産業協会主催インテリアコーディネーター検定対策の学習を通して、建築概要とインテリアコーディネーター知識のより専門的な知識の習得を図る										
授業形式	講義： ○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標					
	○	○				インテリアコーディネーター一次試験合格レベルの知識を身につけることができる					
	○	○				インテリアコーディネーター二次試験合格レベルの知識を身につけることができる					
テキスト・教材 参考図書	テキスト：インテリアコーディネーター合格教本(上・下) インテリアコーディネーター問題集(上・下) その他										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	15章 建築関連法規									
	2	8章 各種エレメント					予習・復習することを心がける。				
	3	16章 消費者関連法規					前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。				
	4	模擬試験					前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。				
	5	模擬試験					前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。				
	6	模擬試験					前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。				
	7	模擬試験					前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。				
	8	模擬試験					前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。				
	9	模擬試験					前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。				
	10	模擬試験					前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。				
	11	模擬試験					前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。				
	12	模擬試験					前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。				
	13	模擬試験					前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。				
	14	模擬試験					前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。				
	15	模擬試験					前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。				
評価方法	(1)小テストを各章が修了した次の授業で実施する。(2)20回目から宿題あり。(3)全国模試を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。										
		言語情報		知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
	全国模試	○						50%			
	小テスト	○				○		25%			
	宿題	○				○		25%			
履修上の注意											

科目名	検定対策ゼミⅡB(宅地建物取引士試験対策ゼミ)選択								
科目名(英)									
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	森行 美枝		
実施年度	2019年度		実施時期	後期		実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	建築工学科3年								
授業概要	宅建試験の合格も視野に、試験の問題演習を通して、建築物を取引する不動産権利取引に関する知識を修得する。それにより、建築物の財産的価値の重要性を認識できる視点を養う。後期は特に重要ポイントを絞り込んだ総合的な演習も盛り込む。								
授業形式	講義：	○	演習：	△	実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標			
	○	○				宅建業の業務内容と役割の特に重要な部分について、関連条文の規定を用いて説明できる			
	○	○				宅地建物取引士の実務における重要事項を条文規定を用いて正しく説明できる			
	○	○				民法の権利義務関係について、小テスト・模擬テストで平均正答率60%以上を出すことができる			
	○	○				不動産取引手続きに関する問題について、小テスト・模擬テストで平均正答率60%以上を出すことができる			
					○	宅地建物取引士資格試験合格			
テキスト・教材 参考図書	出る順 宅建士 ウォーク問過去問題集2018年版①～③【東京リーガルマインド】								
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示		
	1	用語の定義／免許制度／宅建士制度営業保証金／保証協会／媒介契約等の規制					学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること		
	2	重要事項の説明／37条書面 8種制限／業務上の諸規制／監督・罰則 単元テスト					正答できなかった問題は復習、または担当教員に質問するなどして不明点を明らかにしておくこと		
	3	報酬／住宅瑕疵担保履行法					学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること		
	4	制限行為能力者／意思表示／代理時効／不動産物権変動／物権関係					学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること		
	5	抵当権／保証・連帯保証／連帯債務債権譲渡／債務不履行と解除／弁済・相殺／売買 単元テスト					正答できなかった問題は復習、または担当教員に質問するなどして不明点を明らかにしておくこと		
	6	借地借家法/借地借家法					学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること		
	7	区分所有法／不動産登記法 テスト					単元	正答できなかった問題は復習、または担当教員に質問するなどして不明点を明らかにしておくこと	
	8	都市計画／開発許可制度/建築基準法(単体規定・集団規定)／宅地造成等規制法					学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること		
	9	土地区画整理法／農地法/国土利用計画法／諸法例					学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること		
	10	国土利用計画法／諸法例/不動産取得税／固定資産税					学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること		
	11	不動産譲渡所得／登録免許税／印紙税／贈与税					学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること		
	12	地価公示法／不動産鑑定評価基準 テスト					単元	正答できなかった問題は復習、または担当教員に質問するなどして不明点を明らかにしておくこと	
	13	住宅金融支援機構／景品表示法/土地／建物／統計					学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること		
	14	全国模擬試験①					学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること		
	15	全国模擬試験②					学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること		
評価方法	(1)単元テスト(2)模擬試験(3)宅地建物取引士資格試験の点数で評価する 成績評価基準は、平均正答率 S(90%以上)・A(80%以上)・B(70%以上)・C(60%以上)・D(59%以下)とする。								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	単元テスト	○	○				40%		
	模擬試験	○	○				40%		
	宅地建物取引士資格試験					○	20%		
履修上の注意	難しい法律用語が多々出てくるので、用語の意味をその都度細かく確認すること								

科目名	資格対策									
科目名(英)										
単位数	2単位			時間数	30時間		担当者	赤星 亜美		
実施年度	2019年度			実施時期	前期		実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	インテリアデザイン科2年									
授業概要	社会人になる前にビジネスマナーの基本である適切な言葉遣い、動作、たしなみを身に付けることも、社会に旅立つ準備の一つです。、社会人として必要な知識やマナーの習得を促す資格試験「社会人常識マナー検定」の合格を目指します。									
授業形式	講義:	○		演習:			実習:			※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標				
	○	○				社会人としての社会常識・一般知識の用語を日常生活の中で実行・活用できている				
	○	○				社会人としての言葉遣いを正しく使いこなせている				
	○	○				社会常識マナーとしての来客、電話対応ができている				
	○	○				ビジネス文書の作成、受け取り、発送作業が滞りなくできる				
テキスト・教材 参考図書	・公益財団法人 全国経理教育協会 社会人常識マナー検定テキスト 2・3級									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	一般知識1 幅広い社会常識 ビジネスの基礎用語					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
	2	一般知識2 日本語の意思伝達					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 前回の確認テストを実施するので、復習をしておく			
	3	一般知識3 その他の基礎用語・基礎知識					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 前回の確認テストを実施するので、復習をしておく			
	4	一般知識4 計数センスを磨く					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 前回の確認テストを実施するので、復習をしておく			
	5	コミュニケーション1 ビジネスコミュニケーション					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 前回の確認テストを実施するので、復習をしておく			
	6	コミュニケーション2 敬語の種類と適切な使い方					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
	7	コミュニケーション3 効果的に伝える					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
	8	コミュニケーション4 ビジネス文書の活用方法					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 敬語の確認テストを実施するので、復習をしておく			
	9	ビジネスマナー1 来客応対について					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 前回の確認テストを実施するので、復習をしておく			
	10	ビジネスマナー2 受発信文書の適切な取扱い					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
	11	ビジネスマナー3 電話応対について					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
	12	ビジネスマナー4 冠婚葬祭について					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 前回の確認テストを実施するので、復習をしておく			
	13	ビジネスマナー5 訪問・紹介のマナー①					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 前回の確認テストを実施するので、復習をしておく			
	14	ビジネスマナー6 訪問・紹介のマナー②					ビジネスマナー1～9で配布したプリントを復習しておく			
	15	学習のまとめ ― 今期学んだことの復習、理解を深める					これまで配布したプリントを読んで復習しておく			
評価方法	(1)授業の中で確認テストを複数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
	確認テスト	○	○				75%			
	態度・意欲・出席				○	○	25%			
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。									

科目名	数学ゼミⅡB(選択)						
科目名(英)							
単位数	1単位		時間数	15時間		担当者	吉田麻美
実施年度	2019年度		実施時期	後期		実務家教員 担当科目	
対象学科・学年	インテリアデザイン科 2年						
授業概要	建築の各学科において必要とされる、基礎的な数学スキルの復習と習熟を目指す						
授業形式	講義: △		演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				正三角形・二等辺三角形の性質と条件を利用した基本問題が解ける	
	○	○				三角形の合同条件を利用した基本問題が解ける	
	○	○				平行四辺形の性質と条件を利用した基本問題が解ける	
	○	○				三角形・四角形の性質と条件を利用した応用問題が解ける	
	○	○				三角形と四角形を用いた証明問題が解ける	
テキスト・教材 参考図書	オリジナル演習プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	【演習問題】 三角形と四角形 正三角形・二等辺三角形の性質と条件				解答出来なかった問題は必ず復習・解答の上再提出すること。 また、理解できなかった問題は質問事項を記入して担当教員に提出すること。	
	2	【演習問題】 三角形と四角形 直角三角形の合同条件					
	3	【演習問題】 三角形と四角形 平行四辺形の性質と条件					
	4	【演習問題】 三角形と四角形 特別な平行四辺形					
	5	【演習問題】 三角形と四角形 面積が等しい三角形					
	6	【演習問題】 三角形と四角形 空間図形の中の三角形と四角形					
	7	【演習問題】 三角形と四角形 証明問題まとめ					
	8	【演習問題】 三角形と四角形 総合復習・まとめ					
評価方法	(1)出席状況 (2)受講態度・意欲 (3)課題の提出 以上の内容を総合的に判断し R評価(可、不可)で判断する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席状況				◎		60%
	受講態度・意欲	○	○				30%
	課題の提出	○	○				10%
履修上の注意	60%出席を単位付与条件とする						

科目名		BIM 専攻ⅡB(選択)											
科目名(英)		Building Information ModelingⅡB											
単位数		1単位			時間数		15時間			担当者		道脇 力	
実施年度		2019年度			実施時期					実務家教員 担当科目		○	
対象学科・学年		建築系2年共通											
授業概要		・課題の制作を通じた実践的な表現技術の習得。 ・各用途の建築計画的理解と表現。											
授業形式		講義:			演習: ○		実習:			実技:		※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)		言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標						
			○	○			ゾーンツールを使ってポリウムスタディができる。						
				○	○		BIMワークフローにより効率よく設計ができる。						
			○	○			BIMを活用したプレゼンテーションができる。						
テキスト・教材 参考図書		木造住宅入力ガイド(グラフィソフト提供トレーニングドキュメント)											
授業計画		回数	授業項目・内容							授業外学修指示			
		1	課題:複合ビル「制作②」							情報、資料収集を行うこと			
		2	課題:複合ビル「制作③」							情報、資料収集を行うこと			
		3	課題中間報告(発表)							発表資料の確認を行うこと			
		4	課題:複合ビル「制作④」							タイムスケジュールの確認を行うこと			
		5	課題:複合ビル「制作⑤」							タイムスケジュールの確認を行うこと			
		6	課題:複合ビル「制作⑥」							タイムスケジュールの確認を行うこと			
		7	課題:複合ビル「制作⑦」							必要提出資料の確認を行うこと			
		8	課題プレゼンテーション(発表)「プレゼン資料提出」							必要提出資料の確認を行うこと			
		9											
		10											
		11											
		12											
		13											
		14											
15													
評価方法		(1)出席状況 (2)受講態度・意欲 (3)課題の提出 以上の内容を総合的に判断し R評価(可、不可)で判断する。											
				言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合				
		発表・作品			◎		○		50%				
		課題提出			◎		○		50%				
履修上の注意		出席が60%に満たない場合は、単位を認めない。											